



フグに感謝した

山形・鶴岡でふぐ供養祭

【京都】料理人らで構成する庄内日本料理技能向上研究会（土田常雄会長）はこのほど、山形県鶴岡市の加茂水族館で第2回鶴岡ふぐ供養祭を行った。玉串奉納などの神事を執り行い、フグに感謝するとともに豊漁を祈願した。

行政、出荷業者、宿泊業者、飲食業者ら26人が参列。神事後は同水族館内のレストランで懇親会があり、天然のトラフグ

食文化育成へ飲食など親睦

刺身やマフグの唐揚げなどを食べながら、親睦を深めた。

須田剛史・同研究会会長代行は「当地ではいろいろな種類のフグが水揚げされるが、首都圏への出荷が主体で、食べる文化がなかった」とする一方、調理講習会などの活動を通じ、「行政とも連携しながら、フグ食文化の育成に努めたい」と活動への意気込みを話す。

